

# 平成 30 年度 HACCP 教育コース（東京）更新試験問題

## 【行政講演】

1. 最近のカビ相談件数について正しいものはどれか。
  - ① 増えてきた
  - ② 減ってきた
  - ③ 毎年同じである
2. カビについて正しく説明している内容はどれか。
  - ① カビは空中にいない
  - ② カビは食品を汚染しやすい
  - ③ カビの生えた食品を食べても害はない
3. カビの性質で正しいのはどれか。
  - ① 酸素がないと生えない
  - ② 冷凍でも生える
  - ③ 40℃以上でもよく生える
4. かびの有害性について正しいのはどれか。
  - ① カビはすべてカビ毒を産生する
  - ② 一部のカビがカビ毒を産生する
  - ③ カビはカビ毒を産生しない
5. カビと HACCP に関連して次の説明のうち正しい内容はどれか。
  - ① カビは食中毒と関わりが少ないので HACCP と関係がない
  - ② カビによる食品事故は多いけれど HACCP として重視されない
  - ③ 食品のカビ苦情が多いことから HACCP では重視される

## 【正 解】

- |    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 1. | ① | ② | ③ |
| 2. | ① | ② | ③ |
| 3. | ① | ② | ③ |
| 4. | ① | ② | ③ |
| 5. | ① | ② | ③ |

# 平成 30 年度 HACCP 教育コース（東京）更新試験問題

## 【技術講演】

6. 損傷菌の定義について正しいものはどれか。
- ① 損傷菌は細胞内の構造・機能に何らかの変化をもたらす変異をもつ微生物である
  - ② 損傷菌は自然界で様々なストレスにさらされた結果生じる適応した微生物である
  - ③ 損傷菌はまだ明確に定義されていないが物理的または化学的な処理にさらされて細胞の構造・機能に損傷を受けた微生物である
7. 損傷菌の特性について正しいものはどれか。
- ① 損傷菌は健常菌と比べて栄養要求性や薬剤感受性は変化しないが、修復過程での最適温度および pH が低い方にシフトする
  - ② 損傷菌は健常菌と比べて一般に栄養要求性、薬剤感受性とも増大する
  - ③ 損傷菌は健常菌と比べて一般に栄養要求性は増大するが、薬剤感受性は変化しない
8. 損傷菌の計数について正しいものはどれか。
- ① 損傷菌は、一般には初菌数と殺菌後に何らかのストレス負荷をかけた条件で発育してくる菌数の差として計数される
  - ② 損傷菌は、一般には殺菌処理後の初菌数から生菌数と死菌数の差を引いた数として計数される
  - ③ 損傷菌は、一般に殺菌処理後に選択的な条件を負荷した培養法と非選択的な培養法の2つの方法で見いだされる生存数の差として計数される
9. 食品殺菌における損傷菌の意義について正しいものはどれか。
- ① 損傷菌は、一般に適正な条件での長期間の保温培養によって発生するので、滅菌の成否が判定不能となる危険性がある
  - ② 損傷菌は、一般に多くの殺菌処理によって発生するので、得られた生存数は損傷菌への対応や扱いによって変動することになり、殺菌条件の妥当性が問題になる
  - ③ 損傷菌はその生残が製品としての価値を損なうので、殺菌効果以上に品質維持において重大な影響をおよぼす
10. 食品殺菌における損傷菌の対策について正しいものはどれか。
- ① 対策としては、殺菌処理後に損傷菌だけを除菌する
  - ② 対策としては、損傷菌の発育を促進して早期に生菌化させる
  - ③ 対策としては、損傷菌の発生や修復を抑制する

## 【正 解】

6.      ①            ②            ③
7.      ①            ②            ③
8.      ①            ②            ③
9.      ①            ②            ③
10.     ①            ②            ③